

パン、菓子製造業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	23～24	問屋町にある物流センターへ製品を納品するため、トラックから降りてセンターの倉庫へ歩いていたら、凍結した路面に滑り、転倒した際に左足を負傷した。	61	300～499
1	7～8	工場へ出勤しようとして入口に向かっているときに滑って転び、左手首を痛めた。	61	50～99
1	11～12	プルーンビッツ製造室でプルーンスラッジの入った袋の計量をしたものをパレットへ積む作業をしていた。作業場は、計量秤とパレット用台車のスペースが狭く、足元が不安定だった為、作業中につまずき、前のめりで転倒してしまい、左手の親指付け根部分に酷い痛みが生じた。	49	100～299
1	5～6	休憩に行く際、1Fエレベーター前でエレベーターが1Fで待機状態だったので、急いで「開」ボタンを押そうと走ってしまい、走った勢いでスリッパがもつれ、転倒した。	25	500～999
1	20～21	3号ライン2階バケット付近から原料を取りに行く際に、4号ラインロングコンベア架台付近の柱につまずき転倒し、架台下部のアングルに右足くるぶしをぶつけて負傷した。	42	300～499
1	23～24	加熱調理室にて、二重釜作業の使用目処が立った為、周囲の床をお湯と洗剤を使用し、清掃を行っていた際、本人が散布した洗剤に誤って足を滑らせ、一度は洗剤専用ラックに手をかけ右足を踏みとどまったものの、支えていたラックも倒れてしまい、転倒し被災した。	35	100～299
1	16～17	仮詰め作業中に後ろ向きで歩いてしまい、床に置いてあったハンドリフトに気づかずにつまずいて転倒し、右手をついた際に骨折した。	59	300～

				499
1	16~ 17	工場内仕上げ室で、5ライン切断機のローラー掃除を終え、長靴置き場に長靴を履きに行く移動中、6ライン切断機前の濡れている床（お湯で掃除をしていた為、床が濡れていた）で滑り、尻もちをつくように後ろに倒れ、右手を掌からついて手首を痛め、親指の付け根を骨折し、全治2ヶ月となった。	56	100 ~ 299
1	16~ 17	エアイン包装別ラインで、生産後の掃除時に集塵機周りの掃除をしようとして足を滑らせ転倒し、臀部を強打した。	48	100 ~ 299
1	11~ 12	場内で作業を行おうと歩いていた時、移動式天井クレーンが動いている事に気をとられ上を見上げていた。真横に置いていたタンク下部排出口の出ている所に気付かないままつまずいて転び、転んだ勢いで左手を床につき、左中指を骨折した。	58	30~ 49
1	11~ 12	当社工場内を小走りで移動していたところ、バランスを崩して転倒し負傷した。	58	30~ 49
1	12~ 13	工場内の市販パン包装室にて作業中、作業台の上に置かれている、その日の作業内容が記された製造指示書の内容を確認するため、急いで作業台に近づいたところ、足を滑らせて体勢が崩れ仰向けに横転し、左体側・腰部・臀部・大腿部を床に強打し、大腿骨頸部を骨折した。	54	100 ~ 299
2	15~16	不良品を廃棄袋に移しに行き、持ち場に戻る際、急ぎ足で戻り、また湿った床のことを失念し、左足でビニールを踏んでしまい、転倒した	26	100 ~ 299
2	10~11	工場1階商品課において、商品を取り上げる作業中に床が濡れていたためバランスを崩し裁断機の支柱に右手を強打し打撲した。	52	50~ 99
2	14~15	グラノーララインの乾燥機出口にて生地の仮取り作業中に、生地を受けた袋をパレットの上に運搬中、足元が滑って転倒した。床に生地の粉があり、日頃より注意喚起をしているが、本人の不注意により転倒してしまった。又、転倒防止マットが敷いていない場所を通行していた為である。	62	100 ~ 299

2	18~19	生地工場内で抜型を乾燥機内へ運ぶ作業をしていた。両手で肩を持った状態で足を引っ掛けた。その際に前のめりで倒れ、右手の上に肩が落ちて負傷した。	19	100 ~ 299
2	17~18	被災者は和菓子課の包装場にて桜餅の不足分30個のラベル貼り作業をしていた際、製品ケースの外側表面に汚れが付着していることに気付いた。そして、その汚れを拭き取ろうとしたが、手元にアルコールスプレーがなかった為、隣のラインのアルコールスプレーを取りに行こうと振り返った時に足元にあった台車に右足をとられて後方に転倒し被災した。※ラインは停止していた為、本人は焦ってはいなかった。また台車は誰かが放置したものであった。	61	500 ~ 999
2	13~14	工場3階焼成ラインの充填機械付近で清掃作業中に、床に水と洗剤が撒かれ滑りやすい状態だったため、足を滑らせて転倒し、左手首を骨折と、腰を強打した。	64	100 ~ 299
3	13~14	出勤後、作業現場へ向かう途中で3Fのトイレに入ったところ、清掃中で床が濡れていたため、滑って背中から転倒した。	62	100 ~ 299
3	0~1	工場内でバット（容器）を冷凍庫に運んでいるとき、足を滑らせて転倒し被災した。	55	500 ~ 999
3	5~6	構内の清掃中、バケツを取りに行き台車に乗せて戻る途中、パネルを操作していた別の社員が不意に振り返りぶつかりそうになったため、慌てて立ち止まった際に後ろに転倒し、手をついて手首を痛めた。	51	100 ~ 299
3	8~9	生地供給作業中、空のラックをパレットに戻す際、床に置いてあった粘着ローラーに気づかず踏んでしまい滑って転んだ。咄嗟に左手を床につき、受け身をとった際に左手首を負傷した。	55	100 ~ 299
3	18~19	工場内にて、正常終了時に床の掃除をエアガンで行っていた時、掃き集めた粉塵の上で足がすべり、転倒した際に受け身の体勢で左手を床につき、手首を骨折した。	64	30~ 49

3	10~11	工場内を歩いていたところ、流し台付近に落ちていた跳水に足を滑らせバランスを崩し、転倒を防ごうと右手を床につき、右手首を負傷した。	46	50~ 99
4	17~ 18	工場内、洗浄済み番重室に置いてある番重の蓋を取りに行く際、誤って足を滑らせ転倒し、左手を床につき、左手首を骨折した。	53	50~ 99
4	13~ 14	工場入口通路にて、使用済みのダンボールを壊す作業をしている時、手では壊せなかったため足で潰そうとした時、足を滑らせ後ろに倒れそうになり、両手をつけて右手首を負傷した。	59	30~ 49
4	20~ 21	蒸しパンラインで作業中、次の製品で使用する金型を準備するため、作業していた場所から離れたところにある金型を取りに行った。金型は専用台車ではない台車に不安定な状況で積まれていたが、そのまま運搬しようとしたところ台車が勢いよく動き出してしまい、体勢が前方に崩れ、立て直そうとして左足を滑らせ転倒した。	64	1000 ~ 9999
4	17~ 18	仕分け室ドライバー出入口で段差を踏み外し、右足をついた時に前のめりになり、右膝で右胸下を強打し、右肋軟骨を損傷した。	49	300 ~ 499
4	16~ 17	ホテル施設内19Fの洗い場において、シンク内のゴミ受けのゴミを処理中に、ゴミ受けの金具に接触して左親指付近を裂傷した。	58	100 ~ 299
4	14~ 15	工場内にて機械部品の取り外しをする際、脚立を踏み外して転んでしまった。	51	30~ 49
4	10~ 11	菓子製造作業中、工場内の溝（排水の溝）に足が入り、挟まりバランスをくずして転倒し骨折した。	70	10~ 29
4	15~ 16	主担当は出荷場であるが、当日は他部署メレンゲ作業応援をしていた。作業終了後に本来の部署に戻る際、水分補給の為本来通らない経路（メレンゲ室→オープン前→充填室→仕込み室→サニタリー）を通ったが、仕込み室が清掃後の為床が濡れており、誤って滑り転倒してしまった。その際に右肩を床に打ちつけ、腱が引っぱられて内出血をおこした。	37	50~ 99

4	11～ 12	工場内においてクッキー生地の仕込み作業を行っていたとき、生地の状態を確認するため、踏み台（縦56cm×横41cm×高さ41cm）に上りミキサーのふたを開けようとした際、踏み台の天板が濡れていたため右足が滑って身体全体のバランスが崩れ、踏み台の角に勢いよく左足の脛を打ちつけた。	21	50～ 99
4	10～ 11	製造三課菓子パン七係の洗い場で、長靴を履いて生地取り箱を洗浄した後、後方の置き場に両手で箱を持ち置くときに、被災者が予め床面R部分の汚れを浮き出さす目的で洗剤をつけていた床面R部分に右足を踏み込み、前方に滑り転倒した。その際に洗い場のフレームに右膝を強打した。	59	500 ～ 999
4	14～ 15	仕事中に椅子に足をひっかけて転倒した。	21	50～ 99
4	10～ 11	アイスクリームの製造工場において、積み重なっているダンボールを取り出してフタを開け、凍った生クリームをとりだそうとしたところ、左足を滑らせ倒れ込み、ダンボールの角に左脇腹を強く打ちつけ、第九胸椎圧迫骨折した。	65	100 ～ 299
5	11～ 12	工場2階原料投入作業場で、原料を検品台に投入作業中に腰を捻ってバランスを崩し、ポテトチップの油で床が滑りやすい状態であった為、足に力が入らず、転倒してしまった。	69	—
5	14～ 15	商品センターの鉄骨倉庫3階から、折りたたみである新ダンボール箱（86cm×68cm、約900g）×5枚を抱えて階段を下りた際、足元が見にくい状態だったこともあり、2階に着く一段上で左足首を捻ってしまい、そのはずみで転んで右手首と右胸を強打した。時間が経てば治ると思っていたが、その後も痛みが引かなかった。	52	300 ～ 499
5	11～ 12	2tトラックで配送を終えて帰社した際、トラックに積んである荷物を片付けるため、荷台に乗り荷物を持って降りようとした。荷台からステップに足を乗せたところ、雨で濡れていたため（荷物を持っていたこともあり）滑って、バランスを崩して地面に落ち、右手を強く打ちつけてしまった。	50	300 ～ 499
5	5～6	冷生地包装番重ストッカーにて作業の際、足元を滑らせ転倒し、右手を床につき負傷した。	46	100 ～ 299

5	2~3	当工場2階のシュークリーム包装場にて、1号包装機から2号包装機に移動する際、早足だったので濡れていた床面に足を取られて転倒し、尻もちをつき、仙骨を骨折した。近くで洗い物をしていた際に床面に飛んだ水はねをモップで拭き上げた直後であり、完全に床面が乾いていなかった。	35	500 ~ 999
5	11~ 12	1階の惣菜フライヤー室での作業終了後、残った材料を戻すため、1階二次加工の冷蔵庫に行き、原料を格納後、惣菜フライヤー室に戻る時、足元に台車があるのに気付かずに、その台車に躓き顔面から転倒した。その際に前歯2本を折り、床に手をついた時に左手首も打撲した。	66	50~ 99
5	2~3	惣菜開梱室から惣菜フライヤーへキャスターを1台、右手に持って運んでいた際に足が滑り、右手側が下になるように横向きに転倒した。	65	100 ~ 299
5	23~ 24	被災労働者が一次加工室冷蔵庫へ原料を戻すため冷蔵庫へ入った際、入口床が結露で濡れており、その床で足を滑らせ転倒し負傷した。	29	100 ~ 299
5	12~ 13	製品を保管するラックを、工場内の別の作業場へ取りに行く際、急いでいる状態で、作業台から垂れ下がっていたコードに足を引っ掛けて転倒し、右膝を地面（床）で打った。	41	100 ~ 299
6	11~ 12	工場冷凍ラインの冷凍庫内にて、製品固定の為に巻くラップを持ちながら歩行していた際に、冷凍庫内の床が滑りやすい状態であったことと、冷凍庫用の長靴が滑りを防ぐことが出来ないものであった為、足が滑って転倒し、右大腿部を冷凍庫床に強打して骨折してしまった。	50	500 ~ 999
6	13~ 14	被災者はコンビニエンスストアでの勤務中、番重台車を使うため、店舗の外へ取りに行き、両手に1台ずつ台車を持って店内へ戻ってきた。その際、店舗の床面で左足を滑らせて、咄嗟に左手を床面に突き負傷した。	26	1000 ~ 9999
6	13~ 14	スーパーマーケットの特設売り場へ急いでパンを運ぶ途中、入り口付近のタイルが雨の影響で濡れていたため、滑って転倒してしまった。その際、ついた右手首を骨折してしまった。	52	10~ 29

6	14~ 15	工場内にて、生産ラインの清掃作業で出た製品ロス（0.9kg）を左手に持って移動していた。その際に足を滑らせて転倒し、右手首を負傷した。	57	500 ~ 999
6	9~ 10	通常作業で、和菓子製造に使う桜の葉を入れていた容器（60cm幅）を片付けようと、隣部屋のシンクへ向かっていた際、部屋の出口付近に置いてあった台車に気付かず引っ掛かり転倒した。転倒時、左肘を床に強打し受傷した。	54	100 ~ 299
7	14~15	お客様情報センター2階事務室でデスクワーク中、急いで2m程離れたコピー機に近づこうとし立ち上がった際、机の内側か椅子のアームに足を取られた。足を動かすことが出来ない状態になり、気持ちだけが前に行きそのまま床に直接頭部を強打し、打撲裂傷及び視神経炎症の怪我を負った。	64	300 ~ 499
7	11~12	マキシコンオイルを保管していた場所から製造場所へ移動したところ、マキシコンオイルが置いてあった保管場が、マキシコンオイルの油で床が滑りやすくなっていたため、清掃しようと洗浄室へバケツを取りにゆっくり歩いていた際に、床が滑って左肩と腰を打った。	34	—
7	11~12	別作業者が、マキシコンオイルを狭い通路から無理に入れようとした際に、マキシコンオイルの口をカバーしていたビニールが破れ、オイルコックが外れてマキシコンオイルが床にこぼれてしまった。清掃を手伝っていた際に、モップの水切りバケツを右手に持ち歩いていた時に滑り転倒し、背中から倒れ右後頭部と右腰を打った。	21	—
7	15~16	自社工場2Fにて、モップ水掛け床の清掃中、直後の床を歩いた際、少々濡れていたため、滑って転倒してしまった。その際転倒時に後頭部を打ち、その転倒をかわすために左手を床に強くつき、親指の付け根部分を打撲し、腫れてしまった。	51	30~ 49
7	10~11	被災者は、蒸しラインにて紙敷きの作業をしていた。切り替えのため、ゴムベラを持って仕込み場へ移動し、ゴムベラを洗い終わって元の作業現場へ戻ろうと左に体を反転させた際、左足をグレーチングで滑らせ、転倒し被災した。また、被災者は膝の調子がもともと良くなく、下半身の筋肉の衰えを自覚しており、踏ん張りが利きづらい状態であった。	60	500 ~ 999
		V4ラインにて耳生地コンベアーの生地を処理するため餡鉢を台車に乗せ通路を通		300

7	0~1	行していた時、直前に豪雨があり雨もりが発生し床面が濡れていたため転倒しそうになり、回避しようと踏ん張ったが転倒し右足を負傷した。	53	~ 499
7	23~ 24	洗浄室で寸胴を洗浄して、充填機を避けて回り込むように歩いたときに、普段通らない場所を歩き、床が滑り転倒し、右腰から落ちた。転倒時、充填機に接触しないように無意識に体をひねり、変な転び方をした。	52	100 ~ 299
7	16~ 17	アイス製造充填機の階段を、空のアイススティックケースを持ちながら降りる際に転倒し、腰（左後背部）をぶつけてしまった。	20	300 ~ 499
7	0~1	菓子パン製造ラインの焼成場を歩いていたとき、作業者用のスポットクーラーの電源コードに足を引っ掛けて転倒し、床に右膝を打ちつけて被災した。	60	1000 ~ 9999
7	4~5	被災者は、作業終了後に機械を清掃していた。機械の別の場所を清掃しようと移動したとき、濡れた床面で足を滑らせ転倒し、頭部を床の水よけガイドに打ちつけて被災した。	51	1000 ~ 9999
7	6~7	当社工場内のピロー（個包装）包装室内で、個包装機械のスイッチを入れたあと、個包装機械の横に置いてあった個包装後の飴を一時保管するための段ボール箱に足を取られ、横転して尻をついたとき、左足の付け根辺りを骨折した。	64	30~ 49
7	18~ 19	包装場において、アルコールを噴霧する製品があるため、包装機の下に溜まったアルコールバケツを交換しようとし、他の作業者がこぼしてしまい、先にバケツに溜まったアルコールを捨てに行っている間に、被災者が通りかかり、足を滑らせて被災した。	56	1000 ~ 9999
9	20~ 21	屋外に設置された制御盤に向かう途中の通路で雨により床が濡れていた為、足を滑らせ転倒した。その際、左手を床に打ち付け左手首を損傷した。	47	500 ~ 999
9	0~1	作業終了時の清掃作業で、本仕込みミキサー清掃の為、脚立に登ったところ、脚立の位置が悪かった為、脚立に登ったまま位置を移動させようとして、脚立ごと転倒し、左脇腹を打撲し受傷した。	49	100 ~ 299

9	15～ 16	ミキサーボールを洗浄の為、台車に載せ右手で台車を押しながら左手でミキサーボールを押さえていたが、台車の車輪が床の穴にはまり、横にあった別の台車で体を支えようとしたところ、転倒した。その際、ミキサーボールと台車の間に左手親指が挟まり骨折したものである。	61	100 ～ 299
9	5～6	清掃時に使うエアースーツが床をはっている所を通る際に、踏みつけて転倒した。	57	100 ～ 299
9	8～9	始業時の全体朝礼を、工場第1棟2Fの通路で行っていた際、長時間起立（15分程度）状態にあつて、本人が生理中でもあつたためか、貧血状態で意識がうすれ、直立のまま前方に受け身をとらない形で倒れ、床面に顔面を強打、顎の骨折、前歯1本を折つたものである。	19	50～ 99
9	23～ 24	出勤前、構内歩道を歩行中、街灯もなく足元が見えづらくなつていたため、道路に凹みがあるのに気づかず、足を引っかけて転倒、その際、左足首をひねり、左足首腓骨骨折と診断された。	53	100 ～ 299
9	21～ 22	オーブンから焼き上がって出てきた製品に、つや出しコート液が塗れていなかった為、コート塗り機の状態を確認する為に機械の方へ歩いて足早に移動している時に右足を捻った、当日は大した事がないと思い、報告せずに帰宅し、シップをしていた、その後2日間勤務した後の休日に大きな足の痛みを感じ、病院にて受診したところ、骨折であることが判明した。	49	300 ～ 499
9	4～5	清掃作業中に、他の作業者の後ろを通ろうとした際に、通常は柵が置いてあるスペースに柵がなかったため、空いているスペースに足を踏み込んだところ、足を滑らせ転倒し、頭を強打した。	42	100 ～ 299
9	11～ 12	ハート1F場内にて資材の運搬をしていて、死角にあつたパレットにつまずき前面にたおれた、その時、右手左足と顔を打ちつけた。	50	100 ～ 299
9	10～ 11	クレーン解体の為後退中、車体が右側に傾き、転倒する、その際、体を打ちつけ骨折など負傷する。	65	1～9

9	12～ 13	ちんすこうの材料を台に乗り成型機に入れる際、バランスを崩し倒れ右手中指に体重がかかり骨折したものである。	24	50～ 99
10	12～ 13	被災者は蒸しパン包装場での蒸しパン包装作業に従事していた。担当していた作業は包装機に製品を流し入れる作業者に対し、ラックから蒸し網ごと作業台に製品を補充する役割であった。その作業中、次の蒸し網をラックから取り出そうと体を横に向けたところ、体のバランスを崩して床に転倒しそうになり、咄嗟に左手を床に着いて手首部分を負傷したものである。	56	100～ 299
10	11～ 12	菓子包装室で作業中に包材を取りに保管場所に向かう途中、作業中の方の足に引っ掛かり、前のめりに四つん這いの体勢で転倒。その際、両手と両膝を強打し、膝が腫れてきた。	68	50～ 99
10	15～ 16	休憩室を出ようと床に段差を降りた際、右足を床についたらまだ痺れが残っていて姿勢が乱れ、続いて左足を床についたとき左足首を捻る形になってしまい段差を降りた勢いそのまま前に転倒、この際左足首を負傷した。	47	10～ 29
10	13～ 14	団体でご来訪のお客様を台風前の強雨の中、民家から売場に案内したとき、お客様から代表商品「あも」の山積み陳列の最上部にカメムシがいるとの指摘があり、急ぎバックヤードからキッチンペーパーを持って売場へ戻るときに出口のケーブルカバーで滑り商品保管棚で左背中を強打し、肋骨を骨折したものの。	51	100～ 299
10	17～ 18	生産ライン稼働準備のため、移動していた際窒素トンネルの冷気がいつもより強く、床面が凍結しており、滑って転倒し、右手をついた際、右手首を骨折した。	68	100～ 299
11	7～8	自転車で出勤した際、店舗敷地内駐車場に張っていたロープに気付かず、引っ掛かって転倒してしまい、左肋骨を骨折した。	56	300～ 499
11	11～ 12	取引先校門前で、トラックの荷台に空のパン箱を積み込み中、後ろ向き状態でトラックから降りる際、着地場所に段差があり、足首を強く捻ってバランスを崩し転倒した。（荷台から一段下がった昇降用ステップを左足で踏んで右足で地面に着地） 病院で骨折と診断された。	45	30～ 49

11	1~2	工場菓子製造課ミルクレープラインにおいて、被災者が作業で使うヘラを取りに急ぎ足で歩き角を曲がったところ、左足を滑らせ転倒してしまった。その際、その場にあったゴミ箱に左脇腹をぶつけてしまい負傷した。	58	~	999	500
11	15~ 16	工場洋菓子製造2課冷凍ケーキラインにおいて、被災者が番重供給作業中、トラブルが発生したためそこを直そうとその場に向かって歩いていたところ、途中に置いてあったパレットに躓き転倒し負傷した。	49	~	9999	1000
11	9~ 10	パンコーナーにて品出し中に反対側の棚にも品出しをしようとして、振り返った際に、近くに置かれていたパン箱に躓き転倒し負傷した。	66	~	999	500
11	10~ 11	1Bゴーフル焼成室通路で、休憩室から職場に戻ろうと歩行中、角を曲がったところで踵が滑り仰向けに転倒した。お菓子の粉で床が滑り易い状態だった。転倒した際、左手を床につきその衝撃で左肩を負傷した。	50	~	299	100
11	21~ 22	洋菓子仕上げ室で担当場所を変わろうと移動中、床が手袋消毒用塩素水で濡れていることに気付かず右足が滑り、転倒しないよう右手を床に着いた時、右手首を骨折した。	50	~	299	100
12	13~14	来客対応の際、3階事務所より階段を下りている時に清掃作業をしていた為、床が濡れており足を滑らせて転倒し負傷したものである。	42	~	29	10
12	14~15	物置に一時保管している食パンを取りに行く途中、地面の凍った所で転倒して、右手首を骨折した。	65	~	29	10
12	11~12	他工程の応援からパンニング室に戻り、帳票類がある作業台で書類を確認し作業に戻る際に、台車にのった冷生地番重の脇を通ろうとした際に、台車に足が引っかかり転倒し負傷した。	58	~	999	500
12	13~14	お昼の休憩後、休憩室入り口にて靴の履き替えをしようとした時、誤って転倒した。段差はなく、滑る場所ではなかった。	59	~	49	30
12	15~16	デスクにて着席した状態で事務処理作業中、自分自身で引き出した封筒入れの機の引き出しを元の位置に戻さず立ち上がり、引き出したままになっていることを忘れ歩き出し、そこに腰元が引っかかり転倒してしまった。その際、股関節を骨	63	~	49	30

		折してしまった。		
12	2~3	製造現場のスポンジ仕込室入口扉前において、洗浄室で器具を洗い、充填室に器具が入った番重を押して運搬中、前のめりにゆっくりと転倒した（両肘と両膝で四つん這いの格好）。長靴の靴底の滑り止めがすりへり、ツルツルの状態であった。	47	300 ~ 499
12	18~19	店舗営業時間終了後、残った商品を指定された製造工場内の冷蔵庫に入れるため、工場内を歩行していた際、工場内清掃中の現場が、モップによる拭き清掃のため表面が濡れていたため、滑って転倒し、左腕を床に打ちつけた。	56	30~ 49
12	16~17	被災者は、当社パン工場内で清掃を行っていた。濡れたモップを掛けた床を急いで移動しようとしたところ、足を滑らせて転倒した。その際、床に右手首を強くぶつけ、骨折した。	50	30~ 49
12	11~12	工場包装課2FのMA1号機（小箱に玉ガムを詰める工程）で、機械近くに積んであった小箱の入ったダンボール（約10kg）を作業台に載せるため、中腰で持ち上げたところ、バランスを崩して転倒し、床に左膝を強打し負傷した。	55	50~ 99
12	8~9	商品切り替え清掃時に、急いでいたために現場内を走り、管理板を支える部分に躓いて転倒し、左膝を打ち負傷した。	51	1000 ~ 9999
12	17~18	工場1階仕分け場で、商品の小仕分け作業中、各店舗のパン箱にパンを配り終えた際、空になった箱3箱を押していたとき、床の継ぎ目の段差に箱が引っかかり、前のめりに転倒し、左手首を骨折した。	66	300 ~ 499
12	13~14	お客様から、しとぎ餅の注文が入っていて、お客様が受け取りにきたので、4箱ある注文のうち2箱を駐車場に置いてある車に運び、残りの2箱を店の中に取りに帰るとき、誤って店の入口の段差の所で足を捻って転倒してしまい、足首を負傷した。	56	50~ 99
12	7~8	作業中、トイレに行きたくて急いでいたところ、出入り口付近の床が濡れていたため滑って転倒し、慌てて左手をついたが、左手も滑り、左肩を強打し負傷した。	48	500 ~ 999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html